滿州日報

○報價 每月收取八角代賣所及送報人并無分毫加增

○告白刊例 一行五號二十一字起碼登一日者每行二角每登十日行一角五分登月者每行每日一角登長年者價當面議從減 每張四百文

油豆行情（中曆二月初六日）

荳油〔illegible〕行六吊百至六三吊二百
紅糧價錢五吊四百文至五吊
〔illegible〕共上車三十餘輛
〔illegible〕共來七十餘輛
元豆六吊九百至六吊八百

一並〔illegible〕 同十〔illegible〕
一洗石鹼 二打入 同十九圓五十錢
一同 二十本入 同三圓三十錢
一袋寘綿 六枚入百袋 同一圓七十錢
一〔illegible〕 同一百三十圓
一改良半紙 一〆 價三圓
關東公司

一洋蝋燭〔illegible〕 同〔illegible〕
一綿チール仙人印 十四反 同一百十三圓五十錢
一白味噌 正五貫入一箱 同二圓八十錢
一同赤 正十八貫入一樽 同八圓五十錢
一堅パン 七貫入一函 同九圓
矢野洋行

一革口手袋 打 同〔illegible〕
一女手袋 打 同八圓より十五圓迄
一メリヤス手袋 打 同三圓より六圓迄
一小供手袋 打 同一圓五十錢より五圓迄
一女シャツ 打 同六圓八十錢より十圓位迄
一小供シャツ上下 打 同九圓位より廿圓位迄

〔illegible〕 per 6 months.
Rates for Advertisement 20 cts. per line.
Payable in Advance. Postage Included.
The Manchuria Daily Report Office.
Newchwang.
Telephone No. 29.

廣告料 一行 一年ヶ月以上 銀十五仙乃至十〔illegible〕 一ヶ月以內 一長期連揭減價面議
發行所 清國營口中盛街 滿洲日報社（電話二九番）

告示

來る廿日より廿八日迄在留日本人の種痘を司法部裏醫務所に於て無料施行す

月　日　營口軍政署

廣告

工事材料購買入札

第一號 一杉丸太 長七間ヨリ三間半迄取合 貳千百本

第二號 一條石 延長 四千五百丈

第三號 一砂 一千立坪

右每号入札ニ付スル入札希望者ハ當署土木係ニ就キ契約書案熟覽ノ上來ル三月十五日午前十一時入札保証金各自見積代金拾分ノ一以上相添ヘ入札書差出スヘシ

但即時開札ス

此契約ハ營口軍政官與倉喜平擔任ス

明治三十九年二月二十六日

營口軍政署

特別廣告

▲資本金貳千四百萬圓

▲積立金一千零拾四萬圓

本支店出張所

横濱 神戶 東京 長崎 大阪
倫敦 里昂 紐育 桑港 布哇
孟買 香港 上海 天津 北京
大連 旅順 奉天 芝罘 鐵嶺

電話 十番 支配人室 百八番 事務室

橫濱正金銀行牛莊支店

三井洋行

啓者 本行開創在中外通商各埠已有年所售賣棉紗棉布火柴煤炭糖海產等各貨均廉價公道近如蒙各商光顧請駕臨是荷

●精製白砂糖新入荷物あり

倉庫部

今回倉庫所在地（青堆子精搗場上隣り河岸）の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は全所へ御照會被下度願上候（電話百二十八番）

宅合名會社分莊

本號前在營口東營元神廟街自造日本酒澤龜印并一切雜貨其名譽已傳播於滿洲全地矣今又擬在西營子老爺閣街同盛德院內分設支店一所發賣綢緞粗布火柴絲布絨衣荷標布手巾花巾東洋緞子洋傘鞋表貨物俱全而價值尤格外從廉且貴客賜顧時另派有一華人宋厚田氏細心接待以便商議一切凡中外士商賜顧者請辱臨爲幸

運輸部

這般特得官准開設火車轉運行於東西兩店并牛家屯分此殊以李吉甫田彫超等之華人敏活細心以責任欲膺事與本業賜顧幸甚

總司理人田中賴之助謹白　電話 東店五五 西店一二三

三井洋行經理

明治火險公司

本公司開立已久分行上海、香港、天津、各地方中外馳名一核章程仿英例一式遇事克己秉公以廣招徠有願保火險者請至本行面議（電話六十八番）

東盛和

本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉紗布疋火柴洋麵糖煤雜貨發行並匯兌銀錢兼代客經理買賣租船裝運事宜營口廣東兩處自建碼頭能泊輪船二艘棧房地方寬大凡西輪船裝卸貨物極爲利便圍貯油餅豆米麥更爲合宜兼置有輪船一艘名域多利能載重二萬担如有欲租船運貨及存棧貨物水脚棧租格外從廉 貴客賜顧請到小號面議是荷

總司理人 葉亮卿謹白

東永茂

機器油房在營口創辦油搾生意多年以本營業非祇做油房事及經理買賣雜貨布疋等物并代客莊運汽船配載事宜三井行與本店素稱交厚並與各南北客經理有年誠信相孚遐邇知之

正理事潘玉田 副理事金德魁

設在營口西北街路南

西義順

本號開設營口西街老爺閣前路南警乙第五號專營裝卸輪船上下各貨照料穩妥堆棧寬大凡中外 士商賜顧者請認明招牌決不致悞

本主人敬啓

仁裕號

係裝運各幫火輪船生意兼賣各幇洋什貨糧石等此佈

營口西大廟街路北警乙第十三號

元茂盛

油坊買賣元荳油荳餅雜色糧石以及代客購辦雜貨布疋一概發行裝運沙糖船交易南北客商歷有年矣爲此謹白

開設營口西街老爺閣前路北警乙第四十九號

代代木烟公司

本行專售 日本官造紙烟 星象牌（斯達）櫻花牌（提利）百合花牌（利利）均已馳名內外茲特選上等烟料加工精製雙仙鶴牌（隆治來爾）清香撲鼻佳美適口而價值極廉 諸晉欲請可向敝行或請至本行公司代理店西營口大德亨 採買庶不致誤謹此廣告

賣捌並廣告取次所

連大市磐岐町三百三十八號 日華運輸公司

大連市盤陽城四樂九番地 岡野新聞舖

奉天大南門內景祐宮胡同 全泰號

遼陽 遼俱町十 谷口今朝太郎

生徒募集

今般本院に於て在留邦人子弟の爲め尋常小學部を設置し嚢に督促書を差出したるも尚遺漏の分もある可くに付特に廣告候條學齡者は至急本院へ照合し入學手續を爲すへし

營口瀛華實學院

營口瀛華實學院招入學生

本學院肄業諸生頗著成效惟是從去歲常有陸續來學者本學院雖亦收入然班次不齊以致授課之時諸多未便茲因添設樓宇地勢寬宏學生宿舍各種器具無一不備現擬招入學生俟額數充足即行擇期一律入學有志願學者速到本學院報名每日上午九點鐘至下午兩點過期不候特白

營口瀛華實學院

清酒東自慢、白鹿
朝日ビール
孔雀印平野水、箱根水
上等石炭

以上極廉價を以て發賣致候間御用仰付被下度候也

松茂洋行商業部 河岸通（電話五十二番）

一關內外蘆漢鉄道貨物運輸 但シ營口新民屯間ノ鐵道輸送ハ特ニ充分ナル御便利ヲ圖リ可申候

一海關手續 但弊店事務所及郵船會社代理店內派出員ニテ事務取扱

一鈔關手續 但西營口鈔關裏手東玉昌方ニテ事務取扱

一船舶貨物取扱

一其他水陸貨物運輸ニ關スル諸業

右營業仕候間陸續御用仰付被下度願上候

營口西北街第二七二號

大清通運公司 營口支店

大日本政府特定 營口付紙捲煙草 滿洲一手輸入發賣

江副洋行

營口永世街

和泉洋行

本店開設在營口重盛街、發賣毛布、手巾、小布衫、鞋子、錢袋、帽子、洋蠟、小刀及其餘各種雜貨一概俱全價值格外從廉克己、凡 中外仕商賜顧者、請速臨爲幸、

大阪府堺市熊野町 藤原謹啓

田中牛莊分莊

啓者本舖開設於東營口綏定門外經大阪九三組精造東緊身洋式襪子羊肚手巾各樣新近進口來的貨寄於本舖代售格外從廉 賜顧者請光臨本舖面閱是幸

田中牛莊分莊謹啓

材木販賣 荒物

秋田洋行

營口永世街第一八四號平野町

本店 下關 秋田寅之輔商店

飯塚工程局 材料出售

啓者本局今特與日本北海道天鹽木料公司商訂以日本輪船運到各種木料品質精良久已馳名國遠以之架造屋宅及製各色傢具無不合宜且價値格外從廉克己凡中外士商賜顧者請來本埠東營口元神廟街本工程局面議不悞再本十新到各種木料東洋炉子貨真價實以應各主顧需之需圖 本主人啓

●雜貨卸小賣商 附日用食料品
●菓子製造販賣商
●委托販賣商
●土木建築受負業
●瀛車積運送業

新民府孫家街 東洋號

今回弊店に於て明治火災保險株式會社代理店引受候に付き建築物、商品、家具、什器、一切の火災保險精々御便利に取計可申御用被仰付度願上候

三井物産合名會社 牛莊支店（電話六十六番）

電氣諸機械

大販賣

本店 天津日本租界電話二〇〇
支店 營口永世街甲二一五號

三友洋行電機部（電一五四番）

主任 朱牟田寅吉

東京電報

●**コンノート親王殿下の御西下** コンノート親王殿下には今朝東京御出發九州御遊覽の途に就かせらる黑木陸軍大將東郷海軍大將等の接待委員御隨行申し上げたり

●**大島總督の歸任** 大島總督は二十七日朝宇品を出發し滿洲歸任の途に就けり

（二月二十七日發電）

●**英國勳章贈賜** コンノート親王殿下は英國皇帝陛下の大命に依り西園寺首相及井上伯の兩氏へ「グランド、クロスシハイ、エンド、ヂヨーヂ」冠章を授け賜はりたり

●**兇徒嘯聚第一回公判** 河野氏以下諸名士に係る兇徒嘯聚事件第一回公判開廷せられたり

●**大招魂祭委員長** 野津元帥は五月に執行さるべき靖國神社大招魂祭委員長仰せ付けられたり

●**露將送別會** 昨夜寺內陸相は露國捕虜引取委員長ダニロフ中將の爲め送別の宴を開かれたり

●**支那通商協會の創立** 豫て各種實業家の計畫中なりし支那通商協會は愈々創立せらる

●**韓國啓發費** 韓國啓發費として金二十萬圓を伊藤侯の手に致せりと

●**外使の歸國** アルニアル米?公使は三月一日歸國の途に就く筈

●**東京市歡迎會景況** 東京市の開催に係る英國皇甥コンノート親王殿下御一行歡迎會は甚だ盛況を極め就中餘興の大名行列は頗る殿下の賞賛を博し得たり

（以上二月二十八日發電）

雜報

●**清露の交涉**（上）

（二月廿六日在北京特別通信員報）

清露交涉に關しては前日既に御一報致し置き候ひし故其の序幕の果して如何なる形勢なりしかは既に畧御了承の事と存し候其後北京外交界花役者たるポコチロフ唐紹儀の兩人は數度會見を重ね樽俎折衝の驅引き仲々に拔目なく立寄りし模樣に候へ共殘念ながらエキス光線的眼光なき生等に於ては此の活劇を看取するの光榮を得ず唯下馬評を偸聞きして諸君に報道するより外なき次第に候外務部又は官場の下馬評に依れば驅幹長大容貌魁偉尤も惡方のハマリ役たるポコチロフ氏は注文通り惡方を勤め身量尋常容貌温和なる唐紹儀氏は想像の如く立役者と成り惡方たるポコチロフ氏より種々の難題を申込まれ大に閉口致せし由に候聞く所に依れは淸露協商に於て先づ議題に上りし者は先つ唐紹儀氏によりて提議せられし前年露國と滿洲地方官との間に訂結せられし密約の破壞にして淸國側が此の要求を提出せる所以の者は元來此の種の密約訂結者其れ自身が中央政府を代表せる完全なる權限ある者に非ずして其の性質上素より無效なる者多く假令完全なる權限ありし者なりしとするも其條約なる者は當時全く中央政府の承認を經ざりし者なるのみならず此等密約は性質上露國がポーツマウスに於ける平和條約に於て承認せる均等主義と違反する者なるが故なりとの理由なるが如く候而して此の密約廢棄の主なる目的は露國が黑龍江吉林省等に於ける礦山に對する淸露共同經營權亦は優先權奇乾河觀音山等の金礦採掘權吉林省に於ける森林伐採權露國が其密約を口實として現に佔據しつゝある黑龍江の沿岸礦區百數十淸里の地及び呼蘭城佔據の民地百餘畝等の權利放棄には返還を□なる者とせるにて尤も道理あり根據ある正當の要求なるは中外人の均しく認むる所に御座候

●東西南北

●**戰利兵器陳列** 四月三十日の凱旋大觀兵式當日には宮城二重橋前に戰利大砲三四百門戰利小銃二三萬挺、戰利軍刀數萬本を陳列し且つ一般人民の視聽感動を惹かしむる上より楠公銅像附近に塹壕を築き戰利の鐵條網を設け同じ機關砲を据ゑ付け夜間は戰利サーチライトを照らす等の趣向もありと云ふ

●**都築氏大使辭退** 都築樞密院書記官長今回其の筋より伊太利駐箚大使に新任の內命を受けしが一身の都合上斷然辭任せりと

●**東洋貿易會社の設立** 第九師團下の豫後備軍人中の有志者は各自出資して標題の如き會社を設立し當分本店を大阪に支店を大連、奉天、哈爾賓、營口、浦鹽に置き軍隊及び諸官衙用達雜貨及び綿布類販賣賣藥運輸倉庫等の業を營む目的にて去十一日金澤に於て創立委員會を開催せるが三月初旬頃開業する筈なりと云ふ

●**獨逸船長の改俊** 末松男等冷遇事件にて物議を招きしゾーテン號船長は横濱出發以來食卓に着きたる事少なく謹愼の態度を取りつゝあり尙同船長は復航に際しては日本人の乘客皆無なるべしと豫期し居たるに澤柳政太郎氏を始め多數の日本人乘込みたれば日本人の態度に感服し船內の取扱向きも全く改まりたりと

●**女權擴張と請願委員會** 衆議院請願委員會にて婦人の政社加入の請願を否決し政談集會會同の請願を採擇したるが右は婦人に議院の傍聽を許しつゝある今日政談集會の會同を禁止するは矛盾の甚しきものにして何人も其理由なきを認むるも政社に加入を許可するは現今社會の狀態に於て將た婦人智識の程度に於て國家の利害は兎も角婦人それ自身に危險あるものと信ずとの理由に基きたるものなりといふ

●**溝口少佐の審問** 海軍俘虜溝口少佐以下は去る二十一日海軍省に召喚され伊東委員長の取調を受けたるが多分軍法會議に附するには至らさるへしといふ

●**救世軍の新運動** 東北凶作地の慘狀は今更言ふ迄もなけれど中には人民の窮乏に乘して其子女を誘拐し奴隷同樣の事情の下に工女又は醜業婦となし內地は勿論滿韓地方に迄も送り出すものある由救世軍にて聞込み此際其救濟方法として凶作地に派遣し能く事情を取調へ同時に東京に於て新に「女中寄宿舍」を開き其奉公先の世話をなす計畫を立てたる由

●**兵權確執說は無根** 過般來韓國統監の兵力使用權に對し統監と陸軍當局者間に確執ありたるやの噂ありしも其後確聞する所に據れは右は全然誤聞に基くものなりと云ふ尤も統監府官制發表の當時兵力使用權の實行に關し陸軍當局者と協議を要することありたるも總て圓滑に協議纏まりたる次第にて何等確執を生したることなしと云ふ

●**機械水雷を拾ふ** 北陸山陰等日本海に面せる地方には屢々水雷の漂着するとあるは其例めし鮮らさるが此程も機械水雷一箇重量五十貫餘のもの越前敦賀附近に漂着し松原村の漁夫二名にて拾得せりといふ

●**辭令**

海軍少佐　溝口武五郎
海軍大主計　飯田庸治
橫須賀鎭守府附被免、待命被仰付（各通）

●**維納の子供芝居** 維納に昨冬以來評判の興行は子供芝居なり子供のする芝居にあらず子供に見せる芝居なり每週三回の興行にて一回は七歲より十一歲迄の小兒の爲め一回は九歲より十一歲迄、他の一回は十一歲より十四歲迄の爲めに趣向を凝らし充分の敎育的判定を經たるものなりといふ現時の演藝といふものの十中八九は小兒を害する種類のものなる點に於て役者自身も心ある者は小兒携帶見物を難ずる今日此種の興行は我國に眞似て有益なる事と謂ふべし

●奉天近狀（上）

▲**在住民** 昨日歸督の視察者の談話に曰く昨今に於ける在留民の總數は一千七百人にして就中婦人の數四百人に達するを觀る

▲**料理屋** 料理專門三十軒餘旅館兼業二十六七軒、即ち合計にて五十七八軒あり就中第一流の地位に在るは金城館、瀋陽俱樂部、奉天館、紅葉館、日本館等の數軒にして共に皆な料理專門也

▲**婦人數** 以上第一流の地位に在る料理居に就て其の婦人數を調ぶれば金城館の十九人最も多く其他は何れも十四名也

▲**料理代** 更に料理の代價に付て對照するも其の最も高きは又た金城館也金城館に於て同業仲間に誇るに足るは婦人の多數なると、容色の比較的揃ひ居るとの二點に在りて料理は寧ろ惡き方也然かも獨り其價の第一の高價に在るは永く人氣を得る上に於て策の得たる者に非るべし、尙は仝館の婦人は主に名古屋也

▲**比較的** 金城館以外の第一流の專門料理屋即ち瀋陽俱樂部、奉天館、紅葉館、日本館等の樓も亦た容色は比較的揃ひ居ると謂ふて可也、就中顧客の不足を覺るは日本館とす日本館たる者豈に一番の奮發無きを得んや更に是等料理屋の料理代は金城館に比較すれば甚だ安し奉天今日の物價より推察すれば先づ普通と云ふて可ならん

▲**奉天一** 紅裙四百名の中昨今艶名嘖々容色奉天第一を以て稱せられ鼻下長の窃に思ひを寄する者引きも切らさるは實に金城館の抱藝妓たる其名も金に緣ある東京生れの金蝶なりとか其料理と此の藝妓抑も之れ金城館の一幅對也

●**山東省內の日本人** 最近の調査に依れば山東省に於ける邦人の配置は左の如しと云ふ

	芝罘	膠州灣	威海衛	湖南
戶數	百十一戶	三十四戶	二十五戶	六戶
人口	五百九十九人	二百十八人	百三十五人	三十人
男	三百十八人	七十六人	六十四人	十八人
女	二百四十九人	百三十四人	七十一人	十二人

●**一覽拂手形** 今回正金銀行牛莊支店に於て發行せし一覽拂手形は一般の信用甚だ良好に軍票との間に於ても無論、分厘の差額無くて滿の流通を遂けつゝあり

●**昨今の大石橋** 目下婦人の數五十人以上に達し料理屋も八軒に增加し市內も相應に賑かなるに停車場には依然として每日二千五六百人乃至四千四五百人の凱旋兵士の休養するあれは凱旋開始の當時に對照するも敢て寂寥を覺へすとなり因に昨今通過の凱旋隊は大畧左の如き列車順なりと云ふ

午前六時二分　（十八列車）
仝　七時卅二分　（廿列車）
仝　九時二分　（廿二列車）
以上大石橋に於て朝食を行ふ但し停車時間は約一時間なり
仝　十一時三十二分　（廿四列車）
午後零時二分　（廿六列車）
仝　一時卅二分　（廿八列車）
仝　三時二分　（三十列車）
以上大石橋に於て晝食を營む但し以上の列車中廿四列車は炭車にして廿六列車は患者列車也
午後六時二分　（二列車）
仝　七時卅二分　（四列車）
仝　九時二分　（六列車）
以上大石橋に於て夕食を營む二列車の前に卅二列車あるも此の列車は車又は荷物輸送列車也

尙は愛國婦人會牛家屯支部は昨年の十一月廿五日以來（大山大將凱旋）給養所の附近に出張所を設置し以上每日の給養兵士に對し煙草及び菓子等々寄送しつゝ今日に及び居れりと云ふ

●**牛家屯停車場の光景** 昨今の貨車は二十四五臺乃至三十臺なるも日々營口より三四百輛の馬車構內目掛けて荷物を運び込むか爲に且從前の積み殘りの荷物も少からさりしを以て昨今構內は再び荷物充滿の姿を示し居れりと云ふ更に山積せる荷物は穀類、洋酒、雜貨品及び反物類等其重なる者なりと

●**遼河の解氷** 本年は寒氣存外に弱ければ更に三週間も經過せは解氷を見る可く而して更に尙は四五日も經過せは船舶の入港を見るに至らんかと云ふ者あり何れにするも遼河の再び盛觀を呈するは近々の中に在り在留民は正に今日より解氷後に處するの道を講し置くへし

●**遼河輸送業出願者に注意** 解氷期も既に切迫せし爲めか頃日其筋へ遼河輸送業を出願する者多き由なれとも當局者の語る所に依れば多數許可する曉に於ては或は同志打の嫌ひなきにしもあらず然らば自然共倒の恐慌を來たすの恐れあるを以て昨年許可したる者の外は例へ如何樣なる條件ありとも決して其以上は許可せざる方針なりと云ふ

●**降旗代議士の歸省** 代議士降旗元太郎氏は過般來瓦房店に於て經濟事情に付て種々調査中なりしが一昨日歸營例に依りて海岸の日英ホテルに投宿せり聞く所に依れは明日を以て瀋陽に總督府を訪問し要件終了次第、更に昌圖に向ひ仝地に一二泊の上一應歸營し十二三日頃大連出發の便船に依り歸省し未た議會の開會中に在るを幸に一度議會にも顏出しを爲し來月四五日頃を以て再び來營するとなり因に仝氏の歸省は林田書記官長より長文の電報到着せしか爲にして歸京の上は無斷議席を欠きたるの故を以て（憲政本黨に於て其屆の手續を怠り居りたるか爲とか）議會に於て必然身上に關し彼是れの議論を生す可く仝氏も豫め其の覺悟にて歸京するとか

●**東北三縣救濟會の謝狀** 曩に本社が東北凶作地窮民賑恤の爲め義捐金を募集するや東北三縣救濟會には深く本社の擧を多とし去る十九日附を以て左の謝狀を寄せられたり

拜啓貴社益々御隆盛の段奉大賀候陳ば今回凶作地救濟の爲め色々御盡力被下候趣貴紙にて拜見仕り一層感謝致し居り候幸に仁人義士の御陰樣を以て本日迄本會に於て凶作地へ送金したるもの九萬五千余圓に相成尙今後とも可然御願申上候先は一寸御禮申上度如此に御座候草々

東北三縣救恤會

滿洲日報社御中

因に本紙の義捐金募集は昨日を以て〆切りたるを以て一兩日中義捐者芳名簿を調製し急速送金の手續に及ぶべし義捐者の之を諒せんことを望む

●**酌婦の增加** 如何なる原因が導火線となるや吾人の了解に苦むは頃日居住出願者の增加就中料理店酌婦の增加には一驚を喫する所なり今軍政署居留民係に就て聞く所に依れば去る二月十一日より同廿七日迄酌婦の居留認可及び營業許可を與へたる者實に八十五人の多きに達し尙本月に至り新に料理店八軒の開業を見るに至れると或は解氷を宛込み商業の旺盛なるを見越したる爲めか兎に角れ留民の增加は大に喜ぶべき事なり

●**滑稽な誤夫婦喧嘩** 破れ障子と夫婦喧嘩は一度はれば直るとは古へからの諺茲に元神廟街の中程に雜貨を商ふ長井助平（三十六）妻おいん（二七）と云ふ軍要ずくの誤夫婦あり似たもの夫婦の喩にも似合はす長井は其姓に因める譯にもあらざるべけれど萬事氣長にして家業さへも碌々搆はずこれに反して妻のおいんは極めて短氣にて常にこれを喜ばず出て行け、去るはの喧嘩も絕え間なく近隣の者も今は呆れ果てゝ取合ふ者もなかりしが兩三日前に至り元媒介人たる某料理店の婦と帳場の某とが中に這入りさらば愈々離婚と決定し、去り狀迄認め捺印しイザ荷拵へと云ふ際に及んで助平はおいんを裏口に連れ出し見れば二人の顏色以前とは打って變つた容子に約二時間餘りも何か話しを爲して出で來りしを帳場等は怪みながら外へ呼び出し此期に及んで如何なる密談をと詰り聞けばおいんは實は今助さんが斯ふ〳〵と仰しやるので眞逆振り捨ても行かれず……と惚氣澤山の物語りに帳場は人を馬鹿にするも程があると怒つて見たものゝ固より纒る話を破る考へにあらざればそんなら媒介人は手を引くべしとその儘元の鞘に納まりしが一時は助平は返さぬ………おいんは歸らぬと互に情別の愁嘆場を演し出したる爲め流石の媒介人も二時間ばかり開いた口が塞がらざりしとは實に犬も喰はぬ話なり兎角口善惡なき近隣の噂をあら〳〵書くの如し

題梅

垣越しにわびて行けり梅盜人　其聲
手土産に梅折つて來る乳人かな　人丸
貴夫人に柴茶馳走や梅の宿　霞月

霞

其奧に花もつゝむか遠かすみ　其聲
其先は吳越の山か遠かすみ　霞月
心まで其野に浮くや初かすみ　人丸

春月

梅咲いた咄し聲有り春の月　人丸
向ふにも舟よぶ聲や春の月　露月
月おぼろ牛叱る聲聞えけり　其聲

●△△△△**でたらめ草** エム、エス、ホウセンス又曰く夜の倫敦夜の巴里夜の伯林は滿都腐敗の空氣を以て滿たされて居る公園などはウツカリ婦人が出ることが出來ぬそれにつけても日本の最も讚賞に堪へざるは繁華な東京すら其夜は常に澄み渡つた秋の月の冴に切つた如く絕えて腐敗の現象を見ることが無いこれは畢竟遊廓制度の完全して居る爲めで一方即ち或一部分に於ては至醜の場所がある代りに社會の全體が其淸潔を保つとが出來るのである（△△坊）

●**詩文を集る** 『日報俱樂部』に登載すへく遍く江湖の詩歌俳句短文を募集す玉石を問はず紙面の許す限り必ず登載すべし投書函に御投入を乞ふ

汽車

▲**上行車時刻表**

車站名	開午點分	到午點分
新民屯至溝幫子	上六、〇〇	上九、五七
營口至山海關	上八、二〇	下六、〇〇
山海關至唐山	上一二、一八	下六、二〇

▲**下行車時刻表**

車站名	開午點分	到午點分
北京至山海關	上一、八〇〇	下六、二〇
北京至天津	上一一、二〇	下五、四一

野戰鐵道普通輸送列車發著時刻表

大連奉天間下り列車

驛名	發著	時刻
大連	發 午前	九、〇〇

上り列車

驛名	發著	時刻
遼陽	著 午後	三、五〇
大石橋	著	一〇、三二
金州	發	一一、三五
大連	著 翌前	二、二〇 / 三、一〇

大營口線下り列車

驛名	發著	時刻
大連	著	
旅順	發 午後	五、三二 / 一二、〇三

天氣

營口地方　自昨日午後六時至本日午後六時

小說　新作小說　おとし胤（一）

徳田秋聲

柳の綠、桃の紅。春の水緩う流れて、野は一ぱいの夕日である。その光の輝き渡つた中に、靜な鍬の音、水車の軋む音、それを聞いたばかりでも、此の村が、何樣なに平和な村かといふことが解る。小御門村と謂へば、此の國でも最も舊い村の一つで、村の記錄に依ると、開闢してから大約千年以上も經つと謂つて、村の者は大層自慢してゐる。村は舊いけれども、町には遠いし、道の便利は悪いし、それに純朴和靜太古の如き村であるから、五年にも十年にも、一臺の人力車すら此の村に入つたことが無い。いや、偶時に、車輪の音のすることもあるが、それは重い病人でもあつた時、町から來る醫者が乘つて來るのであるから、人力車は此の村では不吉な物としてある。

今、其の人力車が、此の靜な春の暮方に、此の村の一筋道に現はれた。車輪の音は、單調な鍬の音や水車の音をおつかぶせて、野らで働いてゐる百姓等の耳へ入つた。すると一人の若い百姓が、勃然頭を持上げた。次に一人の老爺が、づいと腰を伸ばして、野らに立つてゐる人等は皆鍬を持つ手を休めて了つた。靜な野らは一層靜になつて、車輪の軋む音は、一層高くなつた。見れば、車夫も一人で無い。綱曳で、後押が付いてゐるから、都合三人で、一臺の人力車を挽いたり押したりして、大もがきにもがいて來るのである。村の人等は、更に驚いてぶツ魂消て了つた。

「何んだ、てりや、何事が持上ツたゞね。何家かに急病人でも出來たゞかな。」

と誰かゞいふと、

「何家にも急病人も何も無えだ、皆達者よ。」

と一人がはつきり謂つた。

何しろ一と村、一つ家のやうにしてゐるのであるから、何家にも急病人の無いことが直に解つた。それで車上の人は醫者で無いことも直に解つた。

「何んだらう、何にしに來たんだらう。全体何者だらう。」

と互にさゞめき合つて、その騷と謂つたら無い。何れも眼を光らせて、群雀の中へ蒼鷹が飛込んで來たやうに驚いてゐる。事實此の村へ三人掛の人力車の乘込むといふことは前代未聞だ。

忽ち人力車は、村へ入つた。大きな不思議の塊は、そろ〳〵靜な村へ轉がり込むで了つたのである。其の時まで、此の人力車を見送つてゐた人等は、何か知らぬがホツと息を吐いた。そして今度は、此の不思議の塊が何家へ轉がり込むであらうかと心配した。

此の心配の最中に、人力車は、村の西の端の方で停ツた。其の時、通りがゝつた久兵衛といふ老爺が、車上の人に呼止められた、車上の人は年頃四十五六、茶ツぽい色の洋服を着た立派な紳士である。

「あゝ、小御門村といふのは此處かね。」

と髯を拈りながら、大風な口の利方である。何んでもえらいお役人に違ひが無いと思つて、久兵衛老爺は、郡長樣か縣知事か、へたばるやうに頭を下げた。

「左樣にござえますだ。」

「それでは、猿島寛齋といふ人の家は、何の邊ぢやね。」

「猿島寛齋ね？」

と久兵衛老爺は、首を傾げて考へた。

「解らんかね。」と車上の紳士は、當惑したやうに眉を顰めて、「猿島といふのぢや、猿島…………何でも十五年ばかり以前に、鷹ノ巣町から、此の村へ引移つて來た人ぢやが………」

「其ンでは、先生の事ンだ。然うだ違げえねえ！………先生鷹ノ巣町からござらしツた方だ。其ンなら？何んでござりまする。彼處に、はれ、大ツけえ銀杏の樹が見ゑまするだ。邪の銀杏の樹を左へ曲つて、一町ばかり行かしやりますと、黑い門がござりまする、それが先生のお宅でござりますだ。」

「うむ」

と紳士は、帽子を取る眞似をした。これが他の足を停めて家を訊ねたお辭儀である。三人の車夫は、瀧のやうに汗を滴らしながらまた駈出した。

久兵衛老爺は、少時其の後を見送つてゐて、むやみと首を振つた。

「はてな、先生の許へ滅多に人の來たでとの無え家だに、何の用があつて、彼樣な人が來たゞな。いや、合點の行かねえことがあるもんだ。」

と呟いてゐた。

それから、二時間と經たぬうちに、此の事が村の大評判となつた。

本紙は紙面の整頓と共に漸次振假名附と爲さんことを期すと雖も、目下尙其運ひに至らず。故に本小說の如き作者の意に戻る極めて多かりしも、其振假名は總べて闕畧に附せるを以て漢字のみにては通讀に頗る難澁を覺ゆる所あり、斯の如きは單に假名のみを存して讀者の閲讀に便せり、即ち被蔽せてをおつかぶせてと爲し、大腕に腕いてを大もがきにもがいてと爲し、遂々をどう〳〵、吻ツと息をつくをホツと息をつく、移轉つてを引移つて、妄とをむやみと爲せるが如し。然れども猿島（さしま）家（うち）、許（とこ）等特殊の讀み方を要するものにして、其儘漢字を存し置ける所少からず、是れ假名にて言ひ表はすよりも漢字にて言ひ表はすの、寧ろ其意味を適切ならしむるの効ありと信じたれば也。要するに振假名を省き二三文字の改竄を行へる結果、金玉の佳什をして殆と支離滅裂に歸せしめたるの嫌あるは最も遺憾とする所、而も事情復た如何ともする能はず、此に其由を附記して作者に謝し併せて讀者に告くと云爾　木莽生

投書かご

▲自稱方正子に問ふ汝は如何なる怨みあつて平野町を魔窟といふ萬一右樣の家が一軒でもありとすれば何せ其姓名を謂はざる平野町全體の顔にかゝる（質問生）▲編輯局各位、詩、歌、俳句、短文の募集を始められては如何（横好生）▲朴捻老先生に伺ひますアノ私共のやうな娼賣をやつて居る者許りの易を見ないで澄まし込んで居る奥さん方の易をチツト見て上げて下さい昔しをホジリ出すと隨分面白いのがありますよソレ何處かの奥さまで元は切賣りをして居たやうなのを（一娼人）▲これはけしからん事を言はしやるな愚老の周易は看板通り藝者仲居衆のみで一度足を洗つた人は一切見ない事に致して居るのでおじやる眞逆看板の文字が讀めぬでは無からうがな（朴捻老）▲僕は何時も元神廟街を通る毎に大きな字で〇〇〇〇と書いてあるのを見る何をする處であるかと思つて居たら馬賊の家であつた（喫驚生）

□□□

●鹿爪錄　日本でも俗語には當字が多い即ち箆棒、出鱈目、泡喰ふ、褌垂れる、胡麻化す等の語は其字義よりすれば殆ど何の意味たるを解することが出來ぬ▲支那でも俗語と來たら矢張當字が多くて無意味の事が極めて多いやうである普通『聽く』といふことを聽見と書く聽見では聽いたり見たりの意味で無ければならぬのにそれが單に聽くといふことに爲るのは甚だ可笑しい▲併し日本でもさういふ風の塲合が全く無いでは無い『ヤー君、電話が掛つて來た、一寸聽て見て呉れ給へ』『ウン聽て見よう』か』矢張り聽見では無いか▲前號の鹿爪錄に龍溪先生の近事書報とした は戰時書報であつた（口口生）

營口商店案内

宅合名會社營口支店

堺市の酒造家宅徳平氏の支店にして支店長田中類之助氏一昨年當地に來り始めて開店せり清酒澤龜の販賣を專業とし傍ら雜貨をも鬻ぐ日露戰爭により一攫巨利を博せるの手腕を以て更に支那貿易を營まんとし現に其出張所を西營口老爺閣街同感徳院内に設く其重もなる取扱品は三重紡績綿絲、手巾、花巾、大阪紡績綿布綿絲にして其他は東洋緞子、荷花標布、絨布、燐寸及び時計等の類なり尙は副業としては東淸鐵道輸送業をも營業す

廣告

東北凶作地窮民義捐者芳名

一銀拾一圓五十錢　營口元神廟街　某店員
一仝一圓　同軍政署　濱村中尉從卒
一仝拾五圓　新民府　大田原惣次
一仝拾圓　同　安田貞藏
一仝五圓　同　原田清秀
一仝拾四圓二十錢　營口平野町山金義捐箱　第二回（自二月十一日至二月廿七日）
一仝拾圓　同　百武英一
一仝三圓　同　並木
一仝二圓　同　山田茂利
一仝貳拾圓　同　關東公司雜貨部
一仝五十錢　同　原榮四郎
一仝二圓　同　阪本善作
一仝二圓　同　更科
一仝三圓　同大淸通運公司　村尾勝彥
一仝二圓　同　柴田小三郎
一仝一圓　同　杉山重藏
一仝五圓　同西北街太古盛内　大竹龜吉
一同十圓　營口志方洋行　志方吉太郎
一同二圓　仝　無名氏
一同一圓　仝　植木藤藏

計一百十七圓七十錢
累計三千〇二十六圓九十五錢

競賣廣告

第一號　二輪荷馬車　千參百輛
第二號　二輪荷馬車輓具　五百副
第三號　一人挽徒歩車　三千輛

此入札保證金は各自見積代金百分の五以上右競賣に附し賣却す入札望の者は當所倉庫に就き（自午前十時至午後四時）間現品及入札心得書並に契約書案等熟覽の上來る三月二十日（自午前十時至正午）入札書差出すべし但即時開札す此契約は門司野戰兵器本廠奉天出張所長西野雄太郎擔任す

明治三十九年二月二十日

奉天停車場南方約八百米突に在る（山西會館附近）

門司野戰兵器本廠奉天出張所

拍賣告白

門司野戰兵器本廠奉天出張所

門司野戰兵器本廠奉天出張所玆於日曆本年二月二十日在奉天倉庫拍賣車輛願欲包攬者每日自上午十點鐘起至下午四點鐘止須到該處詳看車輛拍賣知及合同樣式限於三月二十日自上午十點鐘起至晌午須呈入札書即行開札再立此合同者爲門司野戰兵器本廠奉天出張所長西野雄太郎

計開

第一號　双輪搬貨馬車　千三百輛
第二號　双輪搬貨馬車用車套　五百副
第三號　人力單拉車　三千輛

承買者均須將各自估價一百分之五先交作押

明治三十九年二月二十日

在奉天停車場東南方淸里一里半（山西會館附近）

門司野戰兵器本廠奉天出張所

活動大寫眞

●本日午后六時ヨリ二本町松榮座ニ於テ
●日俄戰況幷ニ餘興元錄踊等種々

建築請負廣告

弊組儀昨年中官民の建築工事に從事致居候處本年より專管居留地へ各事業家之建築多大なるものと推測し就ては本年より一層事業を擴張し各位の希望に應じ正實と叮嚀を主とし勉强可仕尙構造法等は多額を要せずして强固なる建築法を研究罷在候間建築御希望の御方は御通知次第參堂御相談可申御注文之程偏に奉願候

建築設計依賴に應ず

營口永世街二本町二百五十八號　工棟組

營口

本店　彌生　電話四一番

支店　彌生　鐵嶺西門外大街

今回新に鐵嶺支店を設け旅館及會席御料理營業仕候間本店同樣御引立之程奉願上候

館主宮下只七郎

一位置　西門より西の方五六軒北側に候
一構造　室内裝飾等日本式　特別室あり凡て營口本店の設備に比し優るとも劣るとなし
一待遇　は親切と叮嚀を旨とし調理萬端十分注意仕候

M. Iizuka,
CONTRACTOR,
ARCHITECT AND CIVIL ENGINEER.

Plans and specifications made to order.

ESTIMATES SUBMITTED.
MODERATE RATES.
No. 151 Yuwansinmiao
Ying Kow

高等旅館　彌生館
營口永世街
館主　宮下只七郎（電一四二）

萬事勉强乘車乘船好位置
營口中央市塲前
旅館　東京樓
店主　熊田兼次郎（電話百七十八番）
即席和洋料理　東京樓支店（電話四十四番）
西洋料理仕出し御需應にず

藝妓仲居　新來御披露
此度新たに内地より藝妓仲居十數名を連れ歸り候間御光來の上御評判の程願上候　草々
營口　高砂ホテル
高砂（電話一四五）

右今般新荷着仕候間可成至急御申込願上候
消火器
英治洋行
營口西北街

會席料理　三日月
營口警務課前南へ入る

奉天日本旅館　瀋陽館
家屋宏壯清潔
接待優遇懇切
開放全時一圓
奉天小西門外大街

Yano & Co.

矢野洋行

Telephone No. 137 電話一三七

諸雜貨、家道具類、呉服反物、蒲團類、婦人用小間物、下駄、足袋、食料品、其他種々

今回新荷着致候間、當時も極安價を以て御用に可應候に付、何卒多少に不拘御用命の程偏に奉願上候

謹言

雜貨卸商

營口元神廟街在

關東公司雜貨部

石材、碎石

並に自家製造 廉價販賣

瓦、煉瓦

營口元神廟街四十號第二號

順吉洋行

重曹

硼砂

炭酸安母

ヲーラミン其他

菓子用薬品新荷着

醫薬 賣薬 醫療器械

東瀛大薬房

營口永世街

澤亀は醇良にして風味高尚なり

並ニ 札幌ビール 朝日ビール

政府專賣口付紙卷煙草 朝日 大和

酢 醤油 瓶詰樽詰

菓子 罐詰 色々

洋酒類 取次販賣

釀造發賣元

宅合名會社

大阪府堺市九間町 本店

北海道小樽湊町 小樽支店

臺灣臺北街書院 臺北支店

臺灣基隆街石牌 基隆支店

臺灣臺南街下南河 臺南支店

北海道函館區辨天町 函館出張店

清國遼陽城內西街 遼陽出張店

清國大連豊部 大連出張店

清國牛莊港東營口 營口支店

諸鐵工製作

鑛山船舶機械鐵工

輕便鐵道附屬鐵工

土木建築用鐵材料

其外鑄物鍛般

營口綏定門街 ブツシ商會東

川喜鐵工場

旅館讓渡

新築 客室十五間

雜貨部擴張に付旅館料理の全部營業其儘讓渡し度御企望者は御來談を請ふ

奉天小西邊門外拾間房

浮世館

婦科專治靈薬

奏功如神仙

名聲掩四海

子宮病血の道 中將湯 薬 THE CHUJOTO TSUMURA

中將湯

大日本東京津村順天堂 大藥房處修

此藥專治婦科諸症如經血子宮虛冷、白帶赤帶胎前產後諸症、惡阻、吞酸、吐水諸症、難產、流產、或漏血不安諸症、經水不調、經期不順、或在經前經後病痛諸症、經逆、經衰發熱、火氣、手足腹痛頭暈目眩諸症復治男女感冒風寒及疝氣等症、誠救苦之妙藥濟世之至寶也

子宮病、血の道等婦人病一切の妙藥なり

總批發處大清國營口永世街(二本町)

藥司洋行 藥劑士 淺野大藥房

其他各國有名靈藥發售處醫藥及醫療器械

雜貨 すし米

醤油 清酒 大樽 半樽

木炭

營口西北街

阪神組

營口(張松林邸內) 池上出張店

遼陽停車場前 池上出張店

奉天 池上出張店

滿洲大販賣所

營口元神廟前 (電話百三十五番)

飯塚工程局材料部

弊局土木建築材料品の各產地と特約を結び廉價を以て多少に不拘賣却仕候間御引立の程奉希上候

一北海道產松大角材外種々

一石灰、石材、敷石、碎石、煉瓦等

一日本石炭數種

大日本帝國醫科大學模範藥局御用

攝津灘石崎合資會社釀造

醇良清酒

澤之鶴

滿洲特約大販賣

裕和盛販賣品目

○酒保用品雜貨

○日本酒澤之鶴樽詰瓶詰

○洋酒食料品各種

○和洋煙草各種

○菓子類各種

清國營口西北街 電話八十一番

裕和盛號支店

和盛本支店所在地

○支店韓國京城、仁川、木浦、

○支店清國、旅順、鐵嶺、芝罘

○本日本長崎梅香崎

裕和盛は清商中日本通の張本！

澤之鶴は既評に定ある天美錄！

景品御料理御披露

私儀去月中原料並に道具仕込みの爲め歸朝致し居ましたが此程種々の薬品を仕込みて立歸りましたを幸ひ常の御引立に酬ひ度と思ひますので此際更に大勉强をしまして從來の御料理を吟味します外新に左記の價額にて釜飯湯豆腐の二品を加へ籤引景品を差上ます

新御料理

加薬飯 御壹人前 銀五拾錢

親子飯 仝 上

湯豆腐 一鍋壹 銀貳拾五錢

但釜飯は加薬親子何れでも御二人前以下は御調進出來ませぬ

景品は御勘定(銀貳圓)に對し一枚の割にて景品券にて差上げ置き今回の總券數二千枚を出し盡しました時に有志の御方々の御立會ひを乞ひまして籤引致し景品券を引換へに左記の景品を進せます何卒陸續御入來之程を偏に希ひます

景品目錄

第壹等		銘酒澤鶴	七樽
第貳等		仝	三樽
第參等		五匁附純金指環	壹個宛
第四等	二本	銀側懷中時計 (代價二拾圓)	壹個宛
第五等	三本	旅行用皮製カバン (仝拾五圓)	壹個宛
第六等	四本	旅行用化粧道具 (仝拾圓)	壹個宛
第七等	五本	膝掛け (仝八圓)	壹枚宛
第八等	六本	絹紬 (仝六圓)	壹反宛
第九等	七本	メリヤスシャツ (仝五圓)上下	壹組宛
第十等	八本	卷烟草入 (仝貳圓)	壹個宛

明治三十九年二月十日より

元神廟街

翁亭

長谷川金次郎

奏議

政務處奏爲考覈州縣事實分別開單請　旨並另擬通行畫一章程摺

奏爲考覈州縣事實分別開單請　旨勸懲並另擬通行畫一章程恭摺仰祈　聖鑒事上年五月十四日奉　上諭欽奉懿旨著自本年爲始每屆年終各該督撫將各州縣分別優劣開列簡明事實奏到後著交政務處詳加考覈分起具奏請　旨勸懲等因欽此嗣據各該督撫陸續奏請展緩至次年三月或五月具奏均奉　旨政務處知道欽此數月以來先後咨到表册計有直隸江蘇山東山西河南四川廣東浙江湖南雲南安徽甘肅熱河福建等十四起未據咨報者尙有湖北江西陝西新疆貴州廣西奉天吉林黑龍江等九省除廣西吉林業經奏准暫緩辦理奉天黑龍江與吉林事同一律亦應暫緩臣等謹就已到表册十四起詳加查覈分爲最優等優等平等次等四級暨不及一年各員分繕淸單恭呈　御覽各州縣列入最優等者擬請仍交各督撫出具切實考語具奏實缺者以應升之缺在任候升署缺者遇缺即補列入優等者擬請交部議敘列入平等者擬請准其照舊供職列入次等者擬請仍由各督撫隨時督飭各該員將應辦各項認眞舉辦如果始終不知奮勉即行分別撤參儻各該州縣或已因另案撤參而此次列入最優等者應由該督撫查明原參情節分別公罪私罪請　旨辦理列入優等平等次等者即毋庸置議其未經咨報之湖北江西陝西新疆貴州等省並請　旨飭下各督撫趕緊造報毋得視爲具文以期仰副　朝廷綜覈名實勤求民隱之至意抑臣等更有請者圖治之道當以實事求是爲歸察吏之方尤以整齊畫一爲要臣等查閱各省表册惟直隸山東最爲詳備其餘各省所報繁簡互殊間涉含混謹擬畫一章程五條請爲　皇太后　皇上縷晰陳之　一開報宜覈實也查各省表册學堂或但云籌辦命盜監押或並無已結未結起數其有於工藝下注男耕女織四字於種植下注棉花三成禾穀七成者一味支吾搪塞尙復成何事體現由臣等酌定表式嗣後務須依式塡寫已辦未辦一一核實開報以免匿飾　一咨報宜按限也此係奉　特旨飭辦之件原令年底開報即各省奏准展緩亦以次年三月至五月爲止迄今又逾數月仍未到齊嗣後近省儘三月遠省儘九月務須一律奏結不得任意延緩　一前後任宜界畫分明也州縣涖任或一二年或三四年不等以前任所辦之事歸功現任殊失情理之平嗣後開報時必須聲明某項原有若干該縣到任後添辦某項若干成效若何以淸眉目　一優次等級宜有一定限制也學堂當以開設處所學生人數最多者爲上次多者爲中最少者爲下警察工藝種植當以辦有成效者爲上已經開辦者爲中不辦者爲下命盜詞訟當以全無或全結者爲上未結不及二成者爲中逾二成者爲下盜案以全無或全獲者爲上過半者爲中不及半者爲下錢漕以全完者爲上欠數少者爲中多者爲下　一州縣宜久任也查各州縣通計到任不及一年者或十之三四成或十之四五成甚且有至六成以上者至於實缺人員亦復紛紛更調在長官不過爲屬員規避處分調劑優瘠起見而傳舍往來直棋不定勢必人人萌五日京兆之心即事事有一暴十寒之慮嗣後各督撫務須愼簡庶僚畀之久任庶賢者得所藉而不才者亦無可濫竽矣以上五條俟奉　旨後擬即通行各省一體照辦以免參差而防流弊所有臣等考覈直隸等省州縣事實並另擬畫一章程理合繕摺具陳伏乞

皇太后　皇上聖鑒謹　奏光緒三十一年十二月二十七日奉　旨依議欽此

中外要聞

●三大臣電陳俄約要欵　探得確實消息出洋考查政治大臣澤公等由日本電致外部請即代奏內言中俄條約關於中國前途最爲重要俄人不得志於遠東必將極力經營蒙古及西北諸邊省故日來於議訂條約有意延緩現聞俄國政府密電璞科第謂此次議約關係甚重務請格外愼重力與磋爭因開出關於條約之問題最要者十餘欵請即代奏外部已於前日據電代奏奉　旨留中

●戶部封奏　昨鐵大軍機遞一封奏係爲稽察戶部檔案痛陳本部利弊考核司員之勤惰整頓財政之不足並整頓崇文門稅務事宜及振興船政條陳洋洋數千餘言　兩宮未能細閱先將原摺留中

●電查千山臺煤礦　昨外部電致　京將軍署云現據商部咨稱職商王承堯稟請開採千山台煤鑛惟查鑛廠已被外人侵佔希貴將軍就近體察情形能否收回祈詳細電覆以憑核辦等語

●鄂督電陳俄約　湖廣總督張香帥電奏中俄議約請政務大臣留心磋商以防欺詐並條陳指駁在庫倫開埠利弊昨兩宮諭令慶邸飭唐紹儀侍郎照電袁宮保籌議矣

●大臣捐資興學　日前世中堂暨那中堂鐵榮二大軍機等捐資設立高等小學四處限期報名一節茲聞四小學均命名公立小學惟以第一二三四分別其地址一在北新橋北二在西四牌樓三在東城報房胡同四在西單牌樓頭條胡同係內府指助房產價值二萬金學中一切除派內府三旗學堂提調承君辦理外並委翰林院侍講達君恩君公同襄辦俟報名完竣定於二月初三日在內府三旗學堂考試

●整頓部務之先聲　日前王步瀛侍御奏請飭戶部整頓部務奉　旨戶部知道現該部堂官集議以戶部統轄全國財政自圜法銀行以及一切部務頭緒紛繁非考察東西洋制度不足以資參考擬派薩部郎季謙前赴日本調查一切以爲將來整頓地步云

●塩務彙誌　政府奏准河東長武縣向銷河東之引而食花馬池塩旣稱民便應照鳳翔之例改食池塩加增引一百四十之例發交該縣納課行運其長武縣舊額六百四十五引歸入餘引項下飭陝西行銷餘引商人領運每年應輸課銀二百七十五兩官錢公務輸銀一百九十二兩九錢四分照數徵收造報其以額作餘之公費銀免其歸公云云　又聞兩淮應行湖南塩引因江湖險阻商船到漢口即當繳引換領水程分售水販運赴湖南塩道飭委在省監管免致舞弊論飭將水程編號凡塩船到漢口繳引按號次第塡注商人姓名給發仍立循環簿登明數目月日所收塩引逕送塩道查核一併將引目逕支塩政投繳　政府定擬凡淮塩到楚令塩道於到岸未發之先抽稱不足即將淮商究治如轉發水商查出斤兩不足將水商究辦具塩船至楚向無數目知會無可稽查諭定十日一咨凡欲開行裝載引目令商人船戶姓名逐一報明塩政移會行銷省分飭督撫互相稽查云云　又政府查明兩淮舊例于商人之中擇其家道殷實者點派三十人爲總商每年課徵之前將一年所徵錢糧數目核明凡散商分隷三十總商名下令其承管催追嗣後該塩政運使各官不時查訪如有分外科派無故私索者一經發覺從重懲辦云云

●直督調兩江之風說　聞官場云直督袁宮保有調轉兩浙之消息其直督之缺擬派戶部鐵尙書升授因保府該尙書有練兵之責任現在政府會議將有各省督撫各缺擬奏請互相更動以免弊生云云

●日法赴刑部照相　昨聞有日本及法國人　刑部通明司務廳欲在南北各所將各監禁犯人並皂役等按各監照相一張當經司務廳回堂傳知各司獄飭皂役預備茶水聞該二國人照相後將各監犯及皂役每名賞給洋圓二毛以備茶水之資

雜報

●河北來載　昨日河北運過河南豆粮袋包一仟餘件洋線二百餘捆花旗布三十餘捆瓜子一百八十餘袋尺布一百五十餘件洋雜貨大箱子二百八十個內貯羽綢足布以及雜貨等類云

●大車驚逸　在大宮塘有一拉氷之大車忽然驚逸至老爺廟後將一提籃者碰倒其車如飛而過衆人驚懼速爲救起其人並未受傷車主老爺廟東被人攔住車上所拉之　皆棄於道云

●匿車避捐　本埠由去歲以來凡係手車推運貨者每月各輸捐手票一元惟用手車藉作列貨肆床推向市場貿易者概不輸捐近日該等聞有暗察沿巡按車追捐於是該等俱不用車列肆貨物多將車輻析而匿藏希圖避捐云

叢談

●美國自誇人數　金山哥路西報載鈕約埠列士厘週報云世界上各文明國除俄國外美國爲最大之國蓋美現有人民八千萬除俄國不計外凌駕於英德法日本意大利西班牙及奧等國之上計開俄國有人民一萬三千萬名德國人民五千六百萬奧國四千七百萬日本四千七百萬英國四千二百萬法國三千八百萬意大利國三千二百萬西班牙一千八百萬在地球最多數人民之國乃中國蓋中國有四萬萬人民但中國人民雖多非爲强國不在文明國之列於三百五十年前西班牙國在地球上各洲皆有屬國曾自誇空中太陽無時不照西班牙土地一語故當時世世界上人民以操西班牙言語爲最多當時西班牙國王差厘士第五曾常自誇曰寡人日中所言對其所乘之馬則操用德語對世人操用法語對女友則用意大利國語對上帝祈禱則用西班牙語云云其意則謂空中太陽旣無時不照西班牙土地西班牙話即爲多人數操用西之話即上帝之話美國近年來呼吸歐洲人來美日多現已有人民八千萬之衆與英國人民四千二百萬合共則有一萬二千二百萬人皆操英語爲世界上文明人種同操一國話者最多之數云

NEWCHWANG, THURSDAY, MARCH 1, 1906.

On Tuesday afternoon last, the Settlement was *en fete* for the marriage of Miss Katherine McIntyre and Mr. William O. Leitch of the Chinese Railways. The ceremony took place at the Irish Presbyterian Church which had been gayly bedecked with bunting and floral decorations. The officiating ministers were Rev. Dr. Ross, uncle to the bride, Rev. James Webster, and Rev. William Hunter.

The bridegroom attended upon by his 'best man' Mr. Anderson of Kaopantze awaited the bride at the church door. The bride was escorted up the church aisle to the altar by her brother Mr. McIntyre of Tientsin and was followed by her two bridesmaids, Misses Bessie and Lylian McIntyre. The bride looked very charming in a beautiful dress of crepe de Chino trimmed with soft lace. She wore a wreath of orange blossoms on her head, covered with a long white bridal veil, and carried a shower bouquet of white roses and marguerites. Her bridesmaids were also daintily dressed in pretty white frocks.

The service was choral, Miss Ross, a cousin of the bride, presiding at the harmonium. Dr. Ross gave an address on the beauty of love and nuptial felicity.

A reception was held after the ceremony by the bride's mother Mrs. McIntyre at Mr. Edgar's residence kindly placed at her disposal for the occasion. There was a large gathering of relations and friends, many coming from a great distance to be present at the delightful function. The bride and bridegroom received the congratulations of their friends in the drawing-room, and when most of the invited guests had arrived the bride proceeded to the dining-room supported by her bridegroom and bridesmaids to cut the wedding-cake, which was done with great ceremony. The moment Dr. Ross proposed the health of the happy couple was the signal for all the present to give vent to the felicitous sentiment with hearty cheers. The bridegroom in answering thanked the company for their good wishes and emphasized how deeply his bride and himself appreciated them. Rev. Mr. Hunter proposed next a toast for the bridesmaids on whose behalf an acknowledgment was tendered by Mr. Anderson. The amiable Dr. Daly proposed a third for the lonely bachelors, urging all the eligible to follow straightway the bridegroom's example. Dr. Phillips as spokesman owned in candid respone that the barrier of bashful modesty was not for the uninitiated so very easy a thing to surmount.

About 5 o'clock the bride and bridegroom amidst showers of rice and good wishes took leave of their friends and crossed the river to Mr. Cox's residence from where they departed on Wednesday morning by the early train.

"Happy is the bride that the sun shines on." The bride of Tuesday was richly favoured in this propitious augury and we are sure that the wishes of her friends will be fulfilled to the full and abundant happiness will be part of her blissful dowry to grace her long wedded life.

The presents were as numerous as handsome. Among them were some exquisite cloisonne vases, the gift of Lt.-Col. Yokura, and some quaint Sheffield plate from the bridegroom's mother, also a great variety of beautiful and useful silver.

Mr. Edgar was all courtesy as a model host and so won the admiration of every guest and the enduring appreciation of the happy parties directly concerned in the joyous event.

Rev. Mr. Hunter, Miss Bessie McIntyre, and her brother Mr. McIntyre have left by the same train this morning for their respective homes. Mrs. McIntyre and Miss Lylian McIntyre will be escorted home to Haicheng by Rev. Mr. Webster to-morrow. Rev. Dr. Ross and his family are to stay at the 'Stone House' during the week and start north next Monday.

According to Tokyo telegrams dated the 27th. ult., H.R.H. Prince Connaught left Tokyo on his sightseeing tour in the morning. H.E. Viceroy Gen. Oshima departed in a steamer from Ujina for Tairen last Tuesday. The Resident-General Marquis Ito had been offered a donation of Y. 200,000 by Mr. K. Okura of the Okuragumi Tokyo, to be employed for the specific purposes of enlightening the Korean people. Count Arco-Valley, the German Minister to Tokyo, is to leave for home to-day.

A faint breath of the slowly approaching spring was felt in the blithe mid-day air yesterday. The layer of the thawing snow on the ground had thinned more appreciably before evening.

時刻

唐山至天津	上六、一二	上一一、二八
塘沽至北京	上六、〇〇	下一二、〇六
天津至北京	上一二、〇〇	下五、二〇
山海關至北京	上八、	下六、四五
天津至唐山	上一二、	下五、一七
天津至山海關	上六、二五	下六、二一
唐山至山海關	上六、〇〇	上一一、五八
山海關至營口	上七、〇五	下四、五五
溝幫子至新民屯	上三、〇〇	下六、五七

上り列車　遼陽發午前　一二、三七　奉天着午後　六、二三
奉天發午後　一二、〇六　…發　七、二〇
天…發午前　一一、〇〇

大連旅順間下り列車

驛名	發着時刻
大連 發午前	七、三〇
旅順 着	一〇、四九

營口上り列車　營口發午後　一〇、二五　大石橋着翌前　一二、二〇

豫報

北の風曇り

昨日の氣溫　最高溫度卅三度　最低溫度八度四

昨年との比　低四度七　高低三度四

營口旅館料理店案內 いろは順

旅館 第一營口ホテル 元神廟街九十六號

旅館 第二營口ホテル 河岸通り

料理 第三樓 元神廟街三十二號 店主 柏屋忠兵衛

旅館 日營ホテル 河岸通り 店主 井上源吉

料理 入船亭 永世街百八十三號 谷初次郎

料理 東京館 永世街八十六號 店主 村上京四郎

旅館 東茂旅館 西北街百七十三號 正金銀行西三軒

料理 沖の島 永世街百六十五號 店主 中川彌三郎

料理 吉野亭 永世街八十六號 店主 坪田正好

旅館 竹村館 永世街二十二號（電話五二） 店主 廣田久二

旅館 大和館 永世街十一號 店主 前田九一郎

料理 滿洲樓 南永世街第十號 店主 直塚勝一

料理 萬梅 豊濟門街第百〇四號 店主 田島彌助

料理 まんなをし 永世街字二本町二百五十九号 元吉田屋跡 店主 和田常松

東京 生蕎麥 一式 東庵 元神廟（電話百五十九）

旅館 金城ホテル 永世街百六十六號

料理 第二金城ホテル 永世街百六十六號 店主 齋藤富次郎

料理 醉花園

旅館 澁谷旅館 永世街百二十七號 店主 澁田留吉

料理 喜樂亭 營口元神廟街

旅館 東雲旅館 永世街七號 店主 谷口今朝太郎

營口軍政署 御用旅館 東雲 主任 谷口今朝太郎

さるそば 第一更科 營口元神廟街
さるそば 第二更科 永世街鶴の湯角

御料理 柳亭 叮嚀專一 豊濟門街二三 店主 玉岡益人

御料理 一力 並ニ溫泉 營口永世街 店主 堀万助

和洋料理 本店 松月亭 營口元神廟街一四三号

和洋料理 御旅館 支店 滿洲ホテル 遼陽西街西門一一七号

遼陽旅館料理屋案內

旅館料理業 營口ホテル支店 主任 井上源吉

御料理 會席 菊水館 主任 朝枝園捷

旅館 西洋料理 遼陽館 主任 永瀬宇吉

旅館料理業 公陽館 主任 宮川秀基

御料理 會席 末廣屋 主任 山根初之亟

御料理 色々應御注文 凱旋亭 主任 古谷庄太郎

旅館 御料理 遼塔ホテル 主任 木村常吉

遼陽兵站司令部指定ホテル 遼陽俱樂部 營口東雲館支店 主任 谷口今朝太郎

會席 玉家 主任 西野治三郎

御料理 會席 來々亭 主任 石田清

撫順炭大販賣 多少に不拘御用命被仰付度願上候 金城館販賣部

特別室落成 營口金城ホテル旅館部

藝妓 仲居 新來 金城館料理部

奉天小西門外 會席御料理 高等御旅館 金城館

旅館 富喜樓
室內は極清潔防寒之設備あり
鐵嶺驛へ滊車到着毎に日本人の案內者出張致し居候
鐵嶺城東門外南へ一丁余 南大街 樓主敬白

御旅館 豐陽館 上海（電話一〇六番）
日本郵船會社荷客取扱
歐米滊船乘船取扱
館主 米田藤吉

西海洋服店 歐米各國最新流行形 永世街一四一（森病院三軒目）（電話百二十七號）

お料理 滿月 平の町（電二）
滿月支店 平の町（元都樓跡）
店主 青木[illegible]

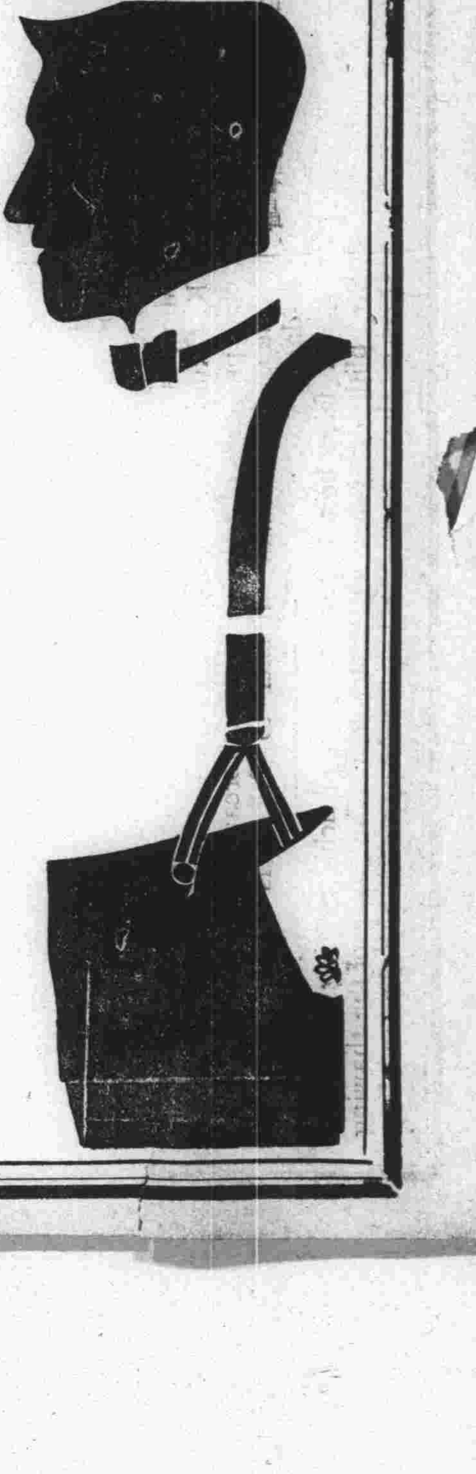
森病院
一診察 自午前八時至正午十二時 自午後三時至午後五時
一往診 午後三時より
△患者の入院治療を諾す
△貧困患者の施療は正午十二時より一時迄 総婦の入院を諾す（取扱主任產婆大嶽しげ子）
院主 森 醫長 鈴木昌平 營口永世街（電話一五五番）

和洋會席御料理
一弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に遊附且又會費等は特に割引大勉强仕候
二奉天支店も本店同樣に大勉强仕候間御光來被成下度候
營口永世街二本町 日本館本店（電話百三十番）
奉天小西門外大十字街北入橋町 日本館支店（電話十九番）
各位樣

東營口郵便局東隣 島田洋服店
新民屯停車場前 同支店

御料理 旅館 勉强館 奉天小西關外北長發園隣

旅館料理屋に對する酒肴料其他不拂の御方は此際御拂込み相成度萬一督促再三に及ぶも尙ほ不拂の御方は其姓名を掲げ新聞紙を以て請求可仕候間豫め御承知相惟度右は同業者協議の上及廣告候也
營口 旅館料理屋同業組合



新着！
舶來ヅボンツリ、新形ネクタイ、流行リボン、
雛人形東京市松、はこせこ、鏡入、
眞入、蒔繪眞入、手文庫、金庫、支那鞄、柳行李、
元祿模樣、絹首卷、ハンカチーフ、花簪、
鶴香水、ばら白粉、櫛、刷毛、理髮道具類、
春模樣新柄友染、双子縞、銘仙、裏地品々、
營口 加藤洋行（電話八十番）

發賣 料木 標子 木板 塩川商會
滿國營口二本町二五五號
主任 塩川峰吉
遼陽小西門內 塩川商會（電話一三六番）

外に建築用材
電柱用材杉丸太長（自二十尺至三十尺）八千本
北海道產松大角（自廿五尺至三十尺）二万立方尺餘
右之品多少に不拘特別安價を以て差上候條御入用の御方は御來臨被成下度候也

○上等石炭 一噸に付 銀十六圓
○上等日本米 一石に付 銀二十圓
○板材木 ○木炭
○亞鉛板 ○洋釘
○干鱈魚 ○石灰
御小賣致候間御用の御方は御通知次第直に持參可仕候也
喜久洋行 永世街八十號（電話百五十二番）

大連 東洋ホテル
大連鐵道停車場附近民政署前兒玉町

標子 木板 料木 發賣
營口青堆子 清水寧木局

爲替相場（二月廿八日）
日本向 一百圓五十錢（軍票百圓に付）
上海向 七十一兩（同）
天津向 一百〇二圓二十五錢（百弗に付）

日本品最近物價表 石原商店
一箱ボイル 三十六入 銀八圓
一フキ 同 同五圓五十錢
一福神漬 四打入 同三圓
一[illegible] 同 同二圓八十錢
一美濃紙 一同 同六圓八十錢
一大手帳 一打 同一圓
一スコッチ靴足袋 一打 同四圓五十錢
一洗濯石鹸 二十五本入一函 同三圓
一[illegible] 同[illegible]
一毛シャツ上下 打 銀二十五圓より六十圓迄
一白メリヤス上下 打 同八圓より十三圓迄
一首輪 [illegible] 同二圓
一毛糸[illegible] より九圓位迄

MANCHURIA DAILY REPORT.
Subscription 4 cts. a copy
80 cts. per month
$2.30

本紙定價
一枚ニ付 銀四仙
一ヶ月前金 銀八十仙
半ヶ年前金 四弗八十仙
一ヶ年前金 銀九弗六十仙